



図1 釧路市の位置

テーマ名 REラーチ
チーム名 木づなをつなぐ



図2 森林資源の循環利用



図3 制作模型

くしる木づなプロジェクト
2023/08/24

【釧路でのイス開発に連携しています】
地域材の利用拡大を進めるくしる木づなプロジェクトでは、今年度の製品開発の推...もっと見る

16人
16
1

2023年(令和5年)9月24日(日曜日)

地元産木材で椅子製作

山花温泉リフレ(釧路市山花)内のスタジオ「はなのこ」は昨日、釧路工業高等専門学校(大塚彦彦校長)5年市佐久間彩香さん(19)が製作した、釧路産カラマツ材を使用した椅子4脚を導入した。(森崎博史)

山花温泉リフレ4脚導入

この椅子は、釧路森林資源活用推進協議会による「木づなプロジェクト」の一環として、佐間さんが設計を行い、得地プラニティ工業(釧路市中央)で機械加工されたカラマツ材を加工、両者が組み立て約4カ月かけて完成させた。椅子製作するきっかけは、同校製造実科建設分野の安間さんが卒業研究として、「地元木材を使った製品作り」に挑戦したいと同野人の中井孝助教授との共同開発だった。

「この椅子は、山花温泉リフレの導入も考えていた」と話し、安間さんは「想像以上の出来上がりで感動している。目の設計と椅子が多岐に利用できるようにして、本気で取り組んでいきたい」と話した。

山花温泉リフレ(釧路市山花)内のスタジオ「はなのこ」は昨日、釧路工業高等専門学校(大塚彦彦校長)5年市佐久間彩香さん(19)が製作した、釧路産カラマツ材を使用した椅子4脚を導入した。(森崎博史)

この椅子は、釧路森林資源活用推進協議会による「木づなプロジェクト」の一環として、佐間さんが設計を行い、得地プラニティ工業(釧路市中央)で機械加工されたカラマツ材を加工、両者が組み立て約4カ月かけて完成させた。椅子製作するきっかけは、同校製造実科建設分野の安間さんが卒業研究として、「地元木材を使った製品作り」に挑戦したいと同野人の中井孝助教授との共同開発だった。

「この椅子は、山花温泉リフレの導入も考えていた」と話し、安間さんは「想像以上の出来上がりで感動している。目の設計と椅子が多岐に利用できるようにして、本気で取り組んでいきたい」と話した。

図4 情報発信